

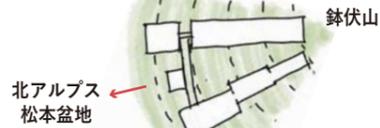
地形を活かしランドスケープ全体を学びの場とする

地形に沿わせながら校舎を配置し、高低差によって分節される外部空間を、其々特徴ある学びや遊びの為の空間とし、かつ、既存校舎と一体の有機的な場所づくりをします。教室や運動場など皆で過ごす場所だけでなく、屋内外に子どもの身体のスケールにあった小さな場所を設け、生徒たちが自分の居場所を見つけられる学校を目指します。

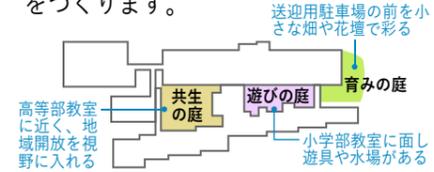
テーマ1：敷地条件等への建築的アプローチ

●扇状地形になじむ有機的な配置

- ・鉢伏山麓の扇状地に沿うように校舎を雁行させながら配置し、北アルプスへの眺望に向けて開いた形とします。
- ・地盤の高低差に合わせて配置して接地部分を増やし、屋外に出やすく、敷地全体を立体的な学びの場とします。

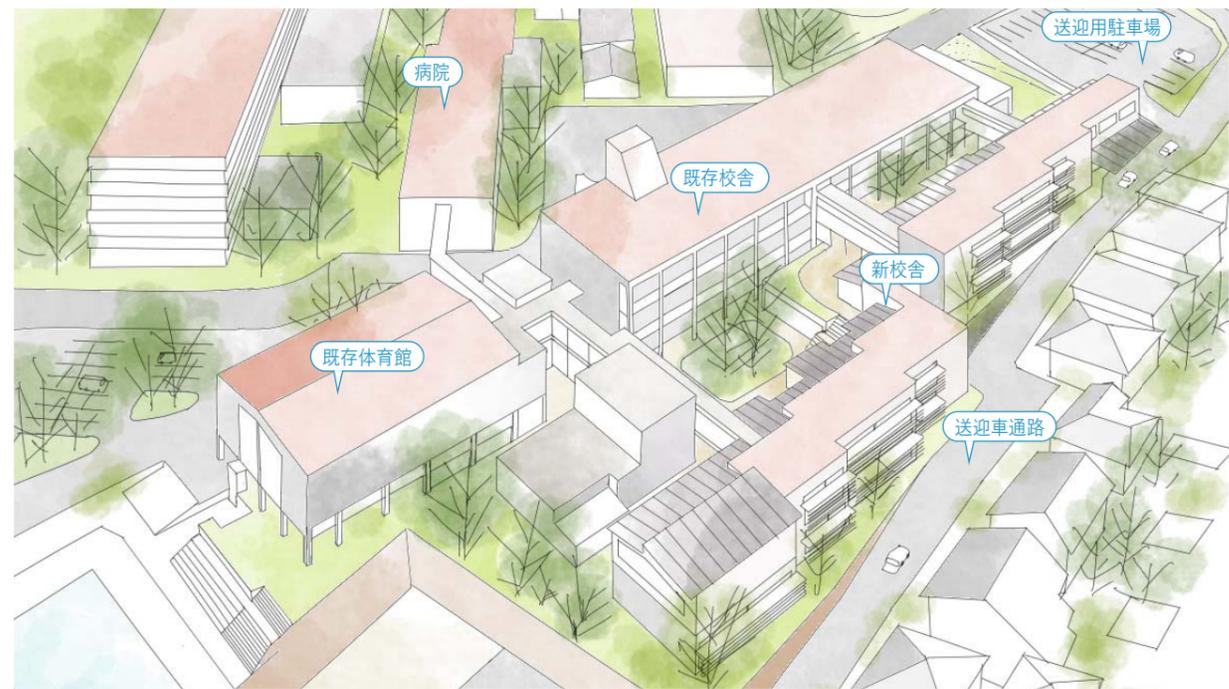


- ・建物配置によってできる前庭や中庭をそれぞれ性格付け、子供たちが安全に学び遊べる、内外を横断した活動の場をつくります。



●安全な歩車分離に配慮した配置

- ・昇降口を新たに設けて通り抜けの道路を通し、送迎時の混雑を解消します。
- ・職員・外来用駐車場を西側(128台)、東側(16台)に、送迎用駐車場(40台)を昇降口付近にまとめ、歩車分離のされた、安全で明快な計画とします。



- ★1次提案書からの変更・個別課題への回答(共通項目は提案書に記載)
- ・既存校舎との距離距離をできるだけ確保するため、雁行配置に変更。
- ・西側住宅地へ配慮し3階建てを2階建てに変更。
- ・駐車場は、保護者送迎用と教職員用を其々まとめて、必要数確保。
- ・新昇降口からあゆみ部へ渡り廊下を設置。あゆみ部への採光を確認。
- ・昇降口やプレイルームとの往来を考慮し、新校舎2Fに小学部を配置
- ・廊下の随所、渡り廊下(既存校舎からのアクセス)から中庭への出入口を設ける。中庭は上履きのみ出られる仕上を検討。
- ・病院への渡り廊下を2階で、あゆみ部や職員室からフラットに接続。下に車の通行スペースも確保。

●内外に多様な学びの空間をつくる将来計画

- ・凹凸しながら教室を配置し、内外にコーナーが多く、より多様な学びと遊びの空間をつくります。
- ・各所に北アルプスが見える場所をつくり、折々に四季の自然を感じられる校舎とします。
- ・地域開放エリアを1F北側にまとめて、地域の文化やパラスポーツ活動の場として交流しやすい校舎とします。



テーマ2：NSDに準じた学習空間に対する理解及び検討

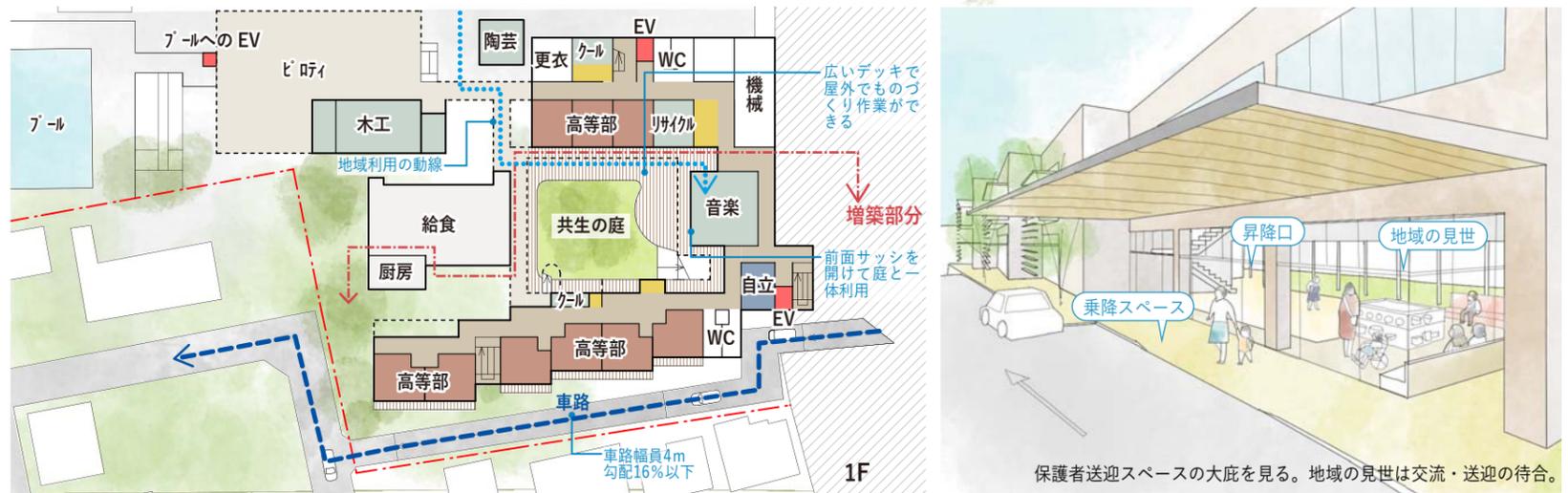
●ループとDENによる居場所の連続

- ・渡り廊下を複数箇所設け、中庭を囲むように新旧校舎を小さな円環状になるよう凹凸の多い廊下[ループ]で結びます。
- ・ループから中庭に面して張り出すように、クールダウンや自立活動のための小規模な室と、付随する小さなオープンスペース[DEN]を設けます。明/暗、広い/狭い、オープン/クローズ等、それぞれのスペースに特徴を持たせ、ループ沿いに生徒たちの小さな居場所を連ねます。

DEN：巣・洞穴を意味する言葉で、子どもが落ちて過ごせる小さなスペース。



ループとDENのイメージ。曲り角や結節点にDENを設ける。



保護者送迎スペースの大庇を見る。地域の見世は交流・送迎の待合。